

はじめに

わが国は、急速な少子高齢化の進展や人口減少社会の到来等の困難な状況に直面していますが、千葉県総合計画「新 輝け！ちば元気プラン」において、安全で豊かな暮らしの実現等のため、多様な主体が連携・協働することの必要性が謳われており、当健康福祉センターにおいても、保健福祉行政を担う専門機関として、関係機関と連携し、各課題に取り組んでいるところです。

このような社会情勢においては、県民一人ひとりの健康課題に対する保健福祉行政の果たす役割は重要であり、特に、当管内には成田国際空港が所在し、感染症に関する健康危機の未然防止及び健康被害の拡大防止を図るため、日頃から、職員及び関係機関を対象とした感染症に関する研修会を開催、防護服着脱訓練を実施する等、県民の健康を脅かす事態に対し、迅速かつ的確に対応できるように備えています。

当健康福祉センターは、広域的、専門的及び技術的拠点として、関係機関と連携・協働し、健康危機管理、生涯を通じた健康づくり、難病対策及び障害者対策等の保健福祉行政の充実を図るよう努めてまいります。

本事業年報によりまして、県民及び関係機関の皆様にも、当健康福祉センターの活動に対する御理解を深められ、地域の資料として御活用いただけましたら幸いです。

平成26年10月

千葉県印旛健康福祉センター長（印旛保健所長）

久保 秀一